

## Ⅱ 畜産公共事業

### 1 方針

畜産公共事業では、平成29年度から新たに畜産環境総合整備事業（熊本市東部地区）を実施する。

熊本市東部は酪農を中心とした畜産業が盛んな地域で、大量に発生する家畜排せつ物は個々の堆肥化処理施設において堆肥化されるか液肥として処理され、飼料作物を中心に利用されてきたところである。

しかし、近年は周辺地域の都市化が進み、液肥等を散布する農地の減少や悪臭に対する苦情、地下水汚染などの環境問題が懸念されるため、周辺農家の家畜排せつ物等を受け入れる堆肥センターを整備し、良質な堆肥生産や適切な糞尿処理を行うことにより地域資源リサイクルシステムを構築し、畜産経営に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を図る。

また、畜産環境総合整備事業の実施と同時に、別途、委託事業として熊本市より家畜排せつ物処理施設整備事業（市単独事業）の委託を受け、同一敷地内において補助事業と市単独事業による施設整備を併せて実施する。

#### 【事業の概要】

事業名	地区名	関係市町村	事業実施期間	総事業費 (千円) ※注2	29年度事業費 (千円) ※注3	主な工事 対象施設
畜産環境総合整備事業 (畜産公共事業)	熊本市東部	熊本市	平成29年 ～ 平成30年	436,560	220,680	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排せつ物処理施設（発酵舎）</li> <li>・水分調整資材保管施設</li> </ul>
家畜排せつ物処理施設整備事業 (他団体からの委託事業)		熊本市	平成29年 ～ 平成30年	935,547	413,688	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設用地造成</li> <li>・家畜排せつ物処理施設（堆肥舎 ／製品保管庫）</li> <li>・管理事務所</li> <li>・農機具庫</li> </ul>
合計				1,372,107	634,368	

注1) 事業費は、平成29年2月末の数値

2) 総事業費は、附帯事務費及び建設利息は含まない。

3) 29年度事業費は、附帯事務費までを含む。

【畜産環境総合整備事業の補助率】

工 種	国交付金	県補助金	備 考
工 事 費	50%以内	10%以内	
測量試験費	50%以内	10%以内	今回は使用しない
工事雑費／一般管理費		60%以内	
附帯事務費		50%以内	

2 事業内容

(1) 事業費総括表

(単位：千円)

事業名	地区名	H29年度 事業費	国交付金	県補助金	市負担金
畜産環境総合 整備事業	熊本市 東 部	220,680	100,000	32,168	88,512

(2) 平成29年度事業計画

<畜産環境総合整備事業>

区 分		事業量	事業費(千円)	備 考
基本 施設	小 計			
	家畜排せつ物処理施設 (発酵舎) 棟	1	141,600	
利用 施設	水分調整資材収集製造施設整備 棟	1	56,200	
	電気導入施設 箇所	1	2,200	
	小 計		200,000	
測量試験費				
工事雑費			4,000	
一般管理費・附帯事務費等			16,680	
建設利息			—	
総 計			220,680	